

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	いいだ人形劇フェスタ開催事業	会計	一般会計	事業No.	789	施策順No.	27-002
		事業種別	政策・重点	予算科目	10-5-7-13-4		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	文化会館		
施策	27 文化芸術の振興	事業期間	開始	S54	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	①市民 ②全国の人形劇関係者						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市の人口(人) (H21.10.1推計人口)		106630	105691	105036	107000	
		全国の人形劇団数		1526	1588	1576	1600	
意図	①観客、劇人、スタッフとしてフェスタに参加する。 ②フェスタに参加し上演する。							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	①人口に対するワッペン購入者数の比率	12.8	16.9	13.6	12	12.8	12	A
	②全国の人形劇団数に対するフェスタ参加劇団数の比率	19.4	25.6	21	20	22.2	20	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	参加劇団は増加しており、4日間のフェスタとしては過去最高のステージ数となった。ワッペンは前年より販売数が減少したが目標は達成した。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>いいだ人形劇フェスタ実行委員会が、日本最大の人形劇の祭典を開催。キーワードは「観る・演じる・ささえる わたしがつくるトライアングルステージ」。観る人、演じる人、ささえる人すべてが参加証ワッペンを購入し、参加者全員でフェスタをつくっている。飯田市民をはじめ各地から2000人を越える人がボランティアスタッフとして参加し、企画運営している。また約300劇団1700人の人形劇人が参加し、市内約130会場で400超の人形劇を上演する。平成22年「人形の友・友好都市国際協会」設立会議参加を契機として、小さな世界都市実現に向けた足掛かりが生まれている。人形劇のまち飯田を代表する祭典である人形劇フェスタは、海外劇団の公演をさらに充実させることにより、市民に世界の多様な人形芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、日本の人形劇界の創造活動の活性化を促し、人形劇文化の向上・発展に貢献する。</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	<p>いいだ人形劇フェスタ実行委員会に負担金を支出</p> <p>1. いいだ人形劇フェスタ2010の開催 開催期間 8月5日(木)～8日(日)</p> <p>2. フェスタの将来を考える会の実施 実行委員3役、部会長によりこれまでの振り返りと今後の方向性についての検討を行った。</p> <p>3. マスコットキャラクター「ぼお」の活用など通年の広報活動</p>	<p>1 ①参加劇団数 ②参加人形劇人数 ③ステージ数 ④ワッペン販売数 ⑤観劇者数 2 ①回数 3 ①回数</p>	<p>1 ①350劇団 ②1,828人 ③453ステージ ④13,478枚 ⑤43,838人 2 ①2回 3 ①16回</p>
23年度実施計画	<p>いいだ人形劇フェスタ実行委員会に負担金を支出</p> <p>1. いいだ人形劇フェスタ2011の開催 開催期間 8月4日(木)～7日(日) 【観る】 本部公演、地区公演、広域公演、プレゼント公演の実施。特集の企画運営。 【演じる】 全国の人形劇団に参加募集 【支える】 一般、中高生を対象にボランティア募集を行う。 企業・団体に協賛・協力・後援を求めるほか、賛助会員の募集、ウェルカム人形展の展示 場所として地元商店街への働きかけ等を行う。</p> <p>平成23年度増額【特殊事業】 ・海外劇団の招聘費として1,000千円を増額する。 ・人形劇を通じた小さな世界都市の実現、また人形劇文化の発展への貢献として、世界で注目されている人形劇団をフェスタに招聘する。 ・その人形劇を市民や飯田に集う日本の人形劇人が鑑賞し、刺激を受けることにより創作活動を促すなど、飯田が新たな人形劇文化の発信拠点となることを目指す。また市民が人形劇を通じて</p>	<p>1 ①参加劇団数 ②参加人形劇人数 ③ステージ数 ④ワッペン販売数 ⑤観劇者数 ⑥ボランティア数 ⑦賛助会費 ⑧ウェルカム人形展参加商店数</p>	<p>1 ①300劇団 ②1,700人 ③350ステージ ④12,000枚 ⑤40,000人 ⑥2,000人 ⑦30口 ⑧25店舗</p>

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)			(そ) 寄附金
		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	
	国庫支出金				特定財源内訳、補足事項
	県支出金				
	起債				
	その他		30		
	一般財源	18,000	17,970	19,000	
	計(A)	18,000	18,000	19,000	
	正規職員所要時間		4,000		
	臨時職員等所要時間		1,000		
	人件費計(B)		15,379		
	トータルコスト A+B		33,379		

4 事業に対する市民や議会の意見

<p>・700円のワッペンを買うことで成り立つ文化・経済の自立。文化の面は地区公演で感じる市民の仲の良い連帯感がそうだと思います。これだけの大掛かりなフェスを市民の手でやってくれること自体が文化だと思います。(劇人)</p> <p>・スタンプラリーなど、色々な楽しみが多くなり家族で楽しめるようになりうれしい。(市民)</p> <p>・年間を通して人形劇が身近に感じられると良いなあと思います。(市民)</p>

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	① 市民がいつでも誰でもどこでも気軽に文化芸術に親しむことができるようにする。② 市民が自己表現の機会を得られるようにする。③ 市民が活動を通じて文化活動を主体的に担うことができるようにする	施策の成果指標又はムトス指標	文化芸術活動に無縁な生活をおくっている人(人) 文化創造活動に自ら主体的に関っている市民の数(人)
この事務事業は施策の目的達成にどのような貢献しましたか	4年間の振り返り	人形劇フェスタを開催することにより、多くの市民が海外を含めた多彩な人形劇を鑑賞できた。特に平成20年には、フェスタ10周年を記念した世界フェスを自主開催し、世界の人形劇を親しめる機会を市民が主体的に企画・実施した。また市民による人形劇団が日ごろの成果を発表し、多数の市民がボランティアスタッフとして主体的にフェスタを運営することにより、市民が自己表現の機会を得るとともに、文化活動を主体的に担うことができた。		
	後期に向けた課題	魅力的な海外劇団の招聘やテーマ別の特集など、多くの市民が人形劇に親しめる機会を充実する必要がある。また多くの市民が楽しみながら参加し、つながりながら主体的に担えるようにスタッフの充実を図る必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	国内外の優れた劇団による公演と、テーマを設けて人形劇の魅力を発信するプログラムを実施した。また、企業・団体等の共催、後援やボランティアスタッフのほかにウェルカム人形展など市民参加の新たな形をつくり広めてきた。		
	後期に向けた課題	観る人にとって魅力的でかつ人形劇の発展にも貢献できるプログラムを企画するには、高い専門性や海外も含めたネットワークが必要となっている。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	他のフェスティバルと連携して海外劇団を招聘することによってプログラムの質・量を確保しながら費用を抑えた。また広報、印刷費、庶務的な経費について、複数の業者に見積をとり経費削減に努めた。		
	後期に向けた課題	他団体や他都市と連携して海外劇団を招聘することによりコストが削減できる。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市民及び人形劇人が受益者であり、参加証ワッペンを購入することで、フェスタの運営費用を負担している。ワッペンはこれまでの経緯と事業の健全運営の視点から金額を決定しており適切である。人形劇のまちを代表する祭典であり市の財政的支援、事務局としての関与は適切である。		
	後期に向けた課題	特になし		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①主体は、いいだ人形劇フェスタ実行委員会、ボランティアスタッフ、人形劇人である。いいだ人形劇フェスタ実行委員会は、フェスタの企画運営を担った。ボランティアスタッフは、事前の研修会を経て、当日の運営を担った。人形劇人は、上演するだけでなく、参加証を購入し、フェスタを支える一員として参加した。 ②市は市民主体の実行委員会が、事業を健全かつ安定的に実施するためにフェスタ事業費の一部を負担するとともに、事務局業務を担った。		
	後期に向けた課題	安定した運営を確保するために、実行委員とサポートスタッフの確保が課題である。		
全体を通じて	4年間の振り返り	「いいだ人形劇フェスタ」は、市民が「みる、演じる、ささえる」事業として定着し、国内外からも高い評価を受けている。また世界フェスの開催や韓国、台湾のフェスティバルとの連携など、フェスタの国際化に向けても着実に成果を上げている。		
	後期に向けた課題	より魅力的な上演や企画事業の実施に向けて、人形劇人や関係団体等との連携を強化する必要がある。台湾、韓国の人形劇フェスティバルとの連携・交流を促進し、フェスタの国際化に向けて取り組む必要がある。多くの市民がスタッフとして主体的に参加できるように働きかけていく必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--